

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よこはま港南地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日		～	令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	184	(回答者数)	139
○従業者評価実施期間	令和6年10月21日		～	令和6年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	29
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	診察・各種評価の結果を基に関係スタッフで療育プランを作成し、保護者の意向も踏まえ、一人ひとりのお子さんの個別支援計画を作成しています。	作成した計画に基づいて他課の専門職と連携し、お子さんに適した支援を実施しています。	引き続き、個別支援計画は定期的に関係スタッフで振り返りや今後の方向性を検討をおこない、保護者とも定期的な面談を通して確認、共有を図っていきます。
2	保護者向けの各種勉強会の実施、定期的な療育参加や面談等を通して、今後の生活が少しでも豊かになる様にお子さんの特徴に関する理解を深めていただく機会を設けています。	通常療育に参加して頂く機会を設けています。参加後にはクラス懇談などを実施し、当日のお子さんの様子や関わり方の共有しています。各種勉強会を欠席された場合は保護者の都合に合わせて聴講できるよう、日程調整を行っています。年1～2回、他クラスや異年齢の保護者と情報交換や交流する機会を設けています。	引き続き、お子さんに合わせたプログラムをクラス毎に工夫し、親子日を使って保護者の方とお子さんの特徴や必要な支援の共有に努めます。これまで通常療育に参加されている保護者以外のご家族にもお子さんの様子や療育を知って頂く機会として家族参観を週末に実施していきます。今年度は平日の午前中の通常療育をみて頂く機会（ファミリーweek）を試行しました。
3	保護者がお子さんの就学に向けて見通しをもって準備等ができるよう、様々な内容を組み合わせて就学準備にむけて取り組んでいます。	年長児の保護者を対象とした就学準備講座を複数回設定し、内容に合わせた必要な時期に設定、ご質問や情報共有する機会を設けています。	引き続き、就学準備講座の内容の見直しをしながら、年長児向けの講座を設定します。 ・今年度より以下の2つを新たに試行しました。 ①年中少児の保護者向けに就学の流れなどをお伝えする機会を設けました。 ②年長児の保護者より就学準備をする中での体験談を年中以下の保護者に伝える機会を親の会と連携し試行しました。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者と安全を確保するための計画や非常時のマニュアル等の共有について	施設として毎月1回の避難訓練以外の安全を確保する内容について、年度初めに保護者へお渡ししている利用者ハンドブックへの記載が不足していると考えています。	利用者ハンドブックに安全計画などを記載し、保護者連絡会などの機会を活用しながら、保護者と共有していきます。
2	安心・安定した療育の提供について	多様化するお子さんの状態像の変化に伴い、クラス運営の見直しや調整を行う際に安心・安定した療育の提携が一定期間ではありますが、提供しきれないタイミングがあると考えます。	引き続き、個々のお子さんに合わせた支援がおこなえるよう、日々の中で職員が相談できる場の確保とタイムリーな検討をおこない、試行期間を出来るだけ短くできるよう努めます。また、先輩職員等との振り返りやアドバイス、法人内外の研修などの機会を活用し、人材育成に努めます。

事業所名	よこはま港南地域療育センター (児童発達支援センター)
------	--------------------------------

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 184名

回収数 139名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	125	10	1	2	・ちょうど良いスペース。 ・2階園庭は狭めなので危ない時がある。	危険箇所や児童の対応を職員間で共有しています。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	126	8	4	1	親子分離の時に足りているのか心配。	一部クラスの職員を増やして対応し、またボランティアも入れて、安全に療育ができるように工夫しています。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	132	4	1	2	・教室に子どもでも分かる絵が貼ってあってわかりやすい。 ・個々人に応じた適切な環境を設定されている。 ・遊びの場、学びの場の区別が分かりやすく参考になる。 ・段差がありませんように感じる。	・子どもが気になる物に目隠しがされたり、水道やトイレが子どもが使いやすいよう設計されています。 ・危険箇所や児童の対応の変更を共有しています。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	136	3	0	0	教室やお手洗いもきれい。	
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	127	10	1	1	・PT.OT.STの訓練、評価を受けたいが、対象になれず受けることができない。 ・個別に先生に相談するとアドバイスもらえる。 ・セラピストも入ってこどもに合った関わりをしてくれる。 ・担任によって差がある。療育センターに園の先生がきて参観をする日があるが子どもが体調不良etcで休みの場合はなくなってしまいうので他の日付に振替をして欲しい。 ・子どもの苦手なことや嫌がることに対して無理強い等ないで安心する。	・PT.OT.STの訓練、評価は診察時に医師の判断により行っています。 ・参観は園の先生の都合により日程調整をしています。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	128	2	0	7		
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	132	5	0	1	・説明が難しい子供の特性を的確に文章にしている。 ・こども本人がどこまで物事を理解できているのか不明な点がある。 ・子どもや保護者のこともよくみたくうえで作成されている。	カンファレンス等で支援内容を確認、共有しています。
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	131	4	0	4	・同じ教室、同じ活動内容でも子供に合せて予告のやり方などを変えている。 ・子どもや保護者のこともよく見たうえで作成されている。	
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	131	6	0	2	後期に入り、後期の目標に沿ったアプローチをしてきている。	
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	118	13	1	7	・同じような活動でも、前回と少しずつやり方を変えたりしている。 ・家ではやらないような事が出来るのでありがたい。 ・リトミツ的なプログラムももう少しあればと思う。 ・意図があつての固定化なので特に不満はない。 ・スライム、工作、音楽、外遊び等固定化しない工夫がされている。 ・子どもそれぞれの特性に合うプログラムの工夫はされている。	・継続児が同じプログラムにならないよう検討しています。 ・同じプログラムを繰り返す場合でも、毎回変化を付けて実施するようにしています。 ・同じプログラムを構造のある、なしの違う状況で実施しこどもの変化を見るなどの工夫をしています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	59	27	33	20	・事業所として他保育所等と交流する機会はないが、個人では幼稚園を併用しているので気にならない。 ・質問の意図がわからない。 ・通園にその部分は求めていないので問題なし。 ・各自、幼稚園等外部との関わりがあるので、センターでは特に必要無いと思う。	

12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	136	2	0	1	・資料もあり、わかりやすかった。	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	139	0	0	0	個別支援計画書で丁寧に説明され今後の課題も明白になった。	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	128	7	1	3	・研修会の案内はされている。 ・親子日や懇談など親が子を理解する支援が手厚くありがたい。 ・オンライン講座の後日配信が、自分のペースで巻き戻したりしつづ復習できるためとても助かる。 ・行われており、助けになっている。 ・父親の参加機会が少ないかもしれないです。 ・保護者教室では有益な情報が得られていると思います。	・プログラムを父親が参加しやすいように設定します。 ・家族参観は週末以外に平日の午前にも実施しています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	131	7	1	0	・子供単独で登園させた日も、その日の様子や今後の課題など具体的に教えてもらえる。 ・活動日に話す時間が毎回ある。 ・いつも気にかけていただいているのでありがたいと思います。	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	132	4	1	2	・担任の個別面談がある。 ・活動日ごとの時間に加え、個人面談がある。 ・日々の療育活動の中で先生と話すので、その時に助言をもらったりしています。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	128	6	2	2	・心理士や担任にとっても共感して話を聞いてもらい助けられている。 ・女性の先生が多いので共感性が高く、支援にあたられていると思います。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	70	38	13	18	・父親が参加できる土曜参観日があり、母親同士の交流もある。 ・きょうだい同士の交流機会はほぼなく、今後機会があればいい。 ・保護者連絡会や日々の療育（特に親子日）で親同士の情報交換ができるので感謝している。 ・活動日に毎回親同士で話す時間がある。交流できるのはうれしい。 ・異なるクラス間の交流、情報交換の機会があればなお良いのではないかな。 ・きょうだい児に関する勉強会などあれば参加したいです。 ・きょうだい児の交流はまだないのであるとうれしいです。 ・リフレッシュ分離等ありますが、そのほかの交流支援はよくわかりません。 ・保護者同士の交流はあるが、きょうだい児の交流はよくわからない。 ・登園している際も、下の子を預かってもらえると非常に助かります。	懇談等、クラス単位で保護者同士の交流を図っている。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	123	8	1	7	・問題ない。 ・まだそのような機会がない。 ・周知・説明されている。また、実際に相談した際も迅速・適切に対応していた。 ・その場ですぐ答えていただける時もあれば面談時という場合もあります。 ・療育センターの申込をしてからSWの対応まで迅速で丁寧だった。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	132	6	0	1	・子供に対して写真など視覚的要素で分かりやすくやり取りしている。 ・療育の時間の前後は他の保護者もいるので中々、しっかり相談がしにくい。	保護者からの相談にはできるだけ時間を取るようにするので、遠慮なくお申し出ください。

21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	103	18	1	17	・行事予定や連絡体制は特に不便と感じる点はない。 ・SNSで確認していない為分かりません。 ・次回予定は紙で連絡事項を確認しているがHPやSNS等で案内されたことはないかもしれないです。	タイムリーな連絡は、SNSとは別のマチコミで行っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	135	3	0	1	問題ない。	
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	125	7	0	6	・定期、不定期の訓練の日が設けられている。説明も受けている。 ・避難訓練があり、消火器の使い方も教えていただきよかったです。	
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	132	4	0	1	・避難訓練はある。救出訓練はやったことがない。 ・避難訓練があり、消火器の使い方も教えていただきよかったです。	
25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	128	3	0	7	・他害等ある子に関して保護者に最低限周知した方がよい。 ・2重ロック、危ない箇所にやわらかいテープを貼るなどケガを防止している。	安全を確保するための計画について周知していきます。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	109	9	1	19	・子供が分離中に他児とぶつかった際、説明も丁寧だし、事後対応もしっかりしていた。 ・小さなケガや体調不良でも、担任が見逃さず親に報告してくれる。 ・事故等が発生したことはないが、日頃から丁寧な対応を受けているので説明はあると思う。	
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	132	3	1	1	・最初は泣く事も多かったが、今は笑顔できている。 ・子どもの特性を配慮して環境設定して、担任も根気強く見てくれて、自分を出せる安心感があるよう。 ・とても安心感を持っている。 ・毎週楽しみにしているので子供に合っていると感じる。 ・とても手厚い対応していただき、親子共々成長させて頂いております。 ・初めて通園した日から子ども自身が安心感を得たようで毎日行きたいと言っている。 ・元々行きしぶりが強い為、たまにしぶることもありますがおおむね楽しそうです。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・お友達に会えること、先生方に会える事を毎週楽しみにしています。	
28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	127	7	1	3	・楽しんで登園しているという意見、複数あり。 ・まだ慣れてない。 ・元々行きしぶりが強い為、たまにしぶることもありますがおおむね楽しそうです。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・お友達に会えること、先生方に会える事を毎週楽しみにしています。	
29	事業所の支援に満足していますか。	132	4	2	0	・おおむね大満足。担任が子どもにきつい言い方や態度をする時がたまに見受けられ心苦しくなる。イライラしてしまう気持ちもわかるので難しく思う。 ・あせってあれもこれも出来るようになりたいと思ってしまっていたが、スモールステップの大切さを教わった。満足している。 ・とても満足していて感謝でいっぱいです。いつも丁寧な対応ありがとうございます。 ・担任の先生によって満足しないこともある。 ・少ない気がします。 ・子どもや親の気持ちに寄り添っていたきありがとうございます。	お子さんの特性に配慮し、今後も丁寧に関わるよう心がけます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		よこはま港南地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和7年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	28	1	・物品を整理減らす、共有する工夫をしています。 ・個別機の不足を大きな療育機で賄っています。 ・定員ついて多くならないようクラス編成を考えています。	・必要な物品が多く保管スペースが不十分。 ・雨天時クラス以外に過ごせる場所が少ない。 ・個性が高く、1つの療育機を複数人で使うことが難しいクラスは部屋が手狭。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	8	・動線や療育の内容の工夫は随時行っています。 ・職員を増やして対応し、安全に療育ができるように工夫しています。	・介助や個別対応が必要な児がいるクラスでは、担任2人では足りない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	29	0	・子どもが気になる物に目隠しがされたり、水道やトイレが子どもが使いやすいよう設計されています。 ・クラスの状況に合わせたクラス設定を実施しています。 ・危険箇所や児童の対応を変更を共有しています。	・机、椅子が現在の児童のサイズに比べ小さい。 ・刺激が多い、雑然としているクラスがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28	1	・古くなった木製靴箱は入替を進めています。 ・衝立等のネジのゆるみはガムテープで補強しました。	・通路の角で出合頭にぶつかりそうになる。 ・衝立等のネジがゆるみ安全面で不安。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	28	1	・必要に応じて個別のスペースを用意しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	27	2	・関係職種との振り返りや目標設定があり、所属内での情報共有も朝の連絡会で実施しています。 ・上司と面談を行い、目標と振り返りを共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	4	・グループミーティングで意見を出し合ったり、直接園長と話す機会があります。	・意見は可能だが改善の検討はなかった。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	26	3	・監査や運営協議会が実施されています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	29	0	・施設内、法人内での研修の機会が多い。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	28	1	・今年度後半に公表するよう準備しています。 ・各クラスで子どもに合わせたプログラムを工夫して実施しています。 ・保護者に合わせ文言を変える等伝達を工夫しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	29	0		・作成に時間がかかっているため簡略化した方がいい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	29	0	・カンファレンスなどで、職員で情報を共有しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	29	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	28	1			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	29	0	・「移行支援」「地域支援・地域連携」も実施し、カンファレンス等で支援内容を確認しています。	・「移行支援」「地域支援・地域連携」は実施、確認しているが、支援計画書へ記載はしていない。 ・各目標が明確化されても職員の経験年数や力量によってやりきれない部分もある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	5	・会議等でプログラムについて共有、見直しを行います。	・クラス担任の経験年数や力量によって、できることに差がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	27	2	・継続児が同じプログラムにならないよう検討しています。 ・同じプログラムを繰り返す場合でも、毎回ステップアップしていくようにしています。 ・同じプログラムを構造のある、なしの違う状況で実施しこどもの変化を見るなどの工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	29	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	28	1	・必要な時は分単位やタイミングも細かく決めて対応を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	29	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	29	0	・ミーティングや他業務で細かい記録が難しい時でも1行のみなど簡潔に必ず記録は付けます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	29	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	28	1	・センター内に相談支援事業所があり、会議等も含め情報交換を実施しています。 ・関係機関との会議にも担任が必ず同行しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	29	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	28	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	0	・電話や来所で引継ぎを行っています。 ・基本的にはほぼ全校と引継ぎを行っており、必要な場合はセンターから連携を求めて引継ぎの場を設けることがあります。	・保護者が希望しても、引継ぎに積極的でない学校がある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23	6	・療育参観や園訪問を行っています。必要時関係者で集まって関係者会議を行っています。 ・オープンデー等、地域の児童発達支援事業所などに知ってもらい取り組みは行っています。	・連携はまだ十分とは言えない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	26	3		・外部研修は職員個人に任されており、力量の個人差は大きい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	19	10	・相談部のSWや園長などが参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	20	・子どもによっては保育所や認定こども園、幼稚園等と併用しています。	・週5日のクラスは地域の子どもと活動する機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	29	0		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28	1	・親子日や懇談など保護者が子どもを理解するよう支援しています。 ・オンラインも含めて療育講座を行なっています。	・担任の経験年数や力量がクラス間で差がある。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	29	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	29	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	29	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	29	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	27	2	・懇談等、クラス単位で保護者同士の交流を図っています。 ・限定した内容（地域資源、就学など）では、他クラスの保護者と情報交換を行っています。	・きょうだい同士の交流の機会は設けられていない。 ・異なるクラス間の交流、情報交換の機会があればなお良いのではないか。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	29	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	27	2	・マチコミの有効活用がなされています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	29	0	・ダブルチェックを徹底しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	29	0		
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	15	・音楽会では、地域の方に演奏していただき交流を図っています。 ・障害児に携わる機関とは交流はしています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	29	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	27	2	・業務継続計画（BCP）について必要な訓練等行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	28	1	・毎年健康質問票で確認。必要な利用者にはお薬手帳のコピーをもらいます。 ・医療ケアが必要な子どもは療育中の対応を主治医からの意見書で確認します。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	28	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	27	2	・安全計画について必要な研修等実施してきます。	・安全計画について職員への周知等が不十分。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	26	3	・安全計画について利用者へ周知していきます。	・安全計画について利用者への周知が不十分。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	29	0	・虐待予防委員会が毎月開かれています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	4	・年度初めの全体研修で職員間での確認を行っています。	・利用児に対して身体拘束が必要な場面がなく、保護者への書面記載はない。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よこはま港南地域療育センター 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和6年2月10日		～	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年2月12日		～	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月11日		～	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多角的なアセスメントに基づく、適切な助言ができること。	利用児のみならず、訪問先集団のアセスメントを踏まえ、実現可能な助言や具体的な対応をお伝えすることを心がけています。状況に応じて、事前に対応のためのグッズや手がかりを持参して訪問に臨んでいます。	療育センター内で行っている環境の工夫、支援グッズ等を写真や資料化し、訪問先からのご質問やご相談に応じた具体的な支援を共有化しやすくします。（パンフレットの作成、タブレット内にデータ化 等）
2	療育センターならではの、多職種との連携を通じた支援の提供	保育士・児童指導員、ソーシャルワーカー、心理士、医師など、利用者とその家族に関わる職員がそれぞれの専門性を活かすと共に、状況の共有を密に図り、チームとして一貫した方針で支援に臨むことを心がけています。	多職種連携の支援をより活かすために、実施状況の報告や支援内容の検討をできる場を設けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高頻度での実施の難しさ	当該事業の人員が予算化されておらず、センター内での運用で実施しています。	市や法人に対して、必要な人員の予算、確保を求めています。
2	事業を担う人材育成	多角的で的確なアセスメントを基にした具体的な対応の助言に関しては、一定の知識・技術・経験を有します。その様な人材育成の体制を構築していくことが課題であるといえます。	児童発達支援施設内での支援の経験、園訪問・巡回相談などの経験など、計画的に事業を担う人材を育成していきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名
よこはま港南地域療育センター
保育所等訪問支援公表日
令和7年3月26日利用児童数
1名回収数
1名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年3月26日				
よこはま港南地域療育センター 保育所等訪問支援		利用児童数 1名 回収数 1名				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			こちらの困っていることを、本児の様子とともに伝えることで、的確な助言をいただけ助かりました。	園でのお困りごとをお伝えいただけただからこそ、より状況に則したご提案に繋がられたものと感じております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・療育センターからの訪問事業は初めてでしたが、日頃より巡回相談等でやりとりしていることもあり、連絡がスムーズなのはもちろんですが、的確な助言が大変保育に役立ちました。なかなか無い機会と伺ったので、貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。 ・上記にあります「別紙」がどんなものなのか、機会があれば拝見させていただきたいと思いました。				・日頃より、連携を図らせていただきありがとうございます。 ・今後とも、的確な助言、提案ができるよう努めて参ります。 ・「別紙」については、別途、自己評価について共有させていただきました。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		よこはま港南地域療育センター 保育所等訪問支援					公表日	令和7年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1		<工夫> 児の興味関心に合わせためりえや発達段階(理解)に合わせた、要求ボードの提案した。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1					
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1					
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1					
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1		保護者の希望も踏まえた形で作成した。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1		保育所等訪問を初めて担当する職員だった為、事前、事後ともに担当SWと丁寧に確認しながら支援を行った。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1					
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			